

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	鹿沼市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	ハンズオンマッチング支援事業	総事業費			1,891,294	1,514,980	2,000,000	5,406,274
		うち市町支出額			1,891,294	1,514,980	2,000,000	5,406,274
		うち県交付金			945,647	757,490	1,000,000	2,703,137
2	専門人材活用課題解決事業	総事業費				2,106,607	2,197,950	4,304,557
		うち市町支出額				2,106,596	2,197,934	4,304,530
		うち県交付金				1,053,298	1,098,967	2,152,265
3		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	0	1,891,294	3,621,587	4,197,950	9,710,831
		うち市町支出額	0	0	1,891,294	3,621,576	4,197,934	9,710,804
		うち県交付金	0	0	945,647	1,810,788	2,098,967	4,855,402

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	ハンズオンマッチング支援事業
事業主体の名称	ビジネスマッチ鹿沼実行委員会
代表者の名称	委員長 坂入 弘泰
事業主体の所在	鹿沼市今宮町1688-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:ビジネスマッチ鹿沼の円滑な運営と効果的な実施</p> <p>・設立年月日:平成28年7月19日</p> <p>・構成員等:鹿沼市役所・粟野商工会・鹿沼商工会議所・足利銀行・栃木銀行・つくば銀行・鹿沼相互信用金庫・建具商工組合・機械金属工業協同組合・鹿沼武子工業団地連絡協議会・鹿沼木工団地協同組合</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>当委員会では市内企業へのビジネスシーンの提供の一貫として、平成28年度からビジネスマッチ鹿沼(展示商談会)を開催してきた。展示商談会では大手企業の購買担当者や技術探査会社等を招聘し商談会を実施。商談は成立しているものの、その内容はコスト削減につながりかねない受発注の商談が多いのが現状である。また、技術的には申し分ないが自社技術の見える化や応用分野へおける深堀がなされていないことから、ニーズへ対する理解や課題解決へつながる技術シーズを活用した提案がなされず、ミスマッチが発生している案件も多く、商談時に自社の強みやサービスをうまく伝えられていないという課題が多い。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>当事業では市内企業の知的資産を深堀し自社の強みの見える化を図り、研究開発・販路開拓の両面から企業の成長支援を実施し成長産業へ向けた販路開拓を目的とする。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載</p> <p>当該年度においては、市内企業に対し技術コーディネーターを派遣してヒアリングや現場調査を実施した。→①</p> <p>市内企業の技術シーズにあった大手企業のニーズ収集を実施した。→②</p> <p>展示会を活用しシーズを基軸としたニーズプル型のマッチングを実施した。→③</p> <p>会場式での出展を検討していたが、新型コロナウイルス感染症を懸念し、オンライン展示会へ出展した。</p> <p>※オンライン展示会に出展した結果、会場費が不要・参加手数料も安価であったため、企業数を増加することができた。</p> <p>翌年度以降については、成長可能性のある市場調査を実施するとともに、市内企業の既存事業の拡大及び新たな成長産業分野への進出を図るため、企業の販路開拓・技術開発の両面からハンズオン支援を実施していく。</p> <p>シーズに基づいた大手事業会社のニーズを収集し、市内企業の新たな分野へ向けた企業の研究開発や販路開拓を支援していく。</p> <p>企業やビジネスに寄り添った企業支援ソリューションを提供していく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>鹿沼市総合戦略(1)産業の振興と安定した雇用の創出①産業の振興</p> <p>市内総生産額365,415百万円(H31)※鹿沼市総合戦略目標</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	<p>・市内企業ヒアリング調査 実績:3社(7回実施)</p> <p>・大手企業ニーズ収集 実績:彩の国ビジネスアリーナへ8社招集</p> <p>・展示会出展事業 商談33件 内訳:24件(事前セット)・9件(来場者から申込) ※席に着いたもののみをカウント 内 見積もり依頼11件・成約1件 ※商談一か月後の状況</p>	<p>・市内企業ヒアリング調査 実績:3社(6回実施)</p> <p>・大手企業ニーズ収集 実績:彩の国ビジネスアリーナへ17社招集</p> <p>・展示会出展事業 商談30件 内訳:29件(事前セット)・1件(来場者から申込) ※席に着いたもののみをカウント</p>	<p>・市内企業ヒアリング調査→① 実績:6社(12回実施)</p> <p>・大手企業ニーズ収集→② 実績:オンライン彩の国ビジネスアリーナへ29社招集</p> <p>・展示会出展事業→③ 商談29件 内訳:27件(事前セット)・2件(サイト訪問から申込)</p> <p>※オンライン展示会に出展した結果、会場費が不要・参加手数料も安価であったため、企業数を増加することができた。</p>		
事業費	1,891,294	1,514,980	2,000,000	5,406,274	
市町支出金(ソフト事業分)	1,891,294	1,514,980	2,000,000	5,406,274	
うち県交付金	945,647	757,490	1,000,000	2,703,137	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業振興課
担当者名	戸田 博明
電話	0289-63-2182
FAX	0289-63-2189
E-mail	sanngyou@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ハンズオンマッチング支援事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	2,000,000	
計	2,000,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託料	2,000,000	2,000,000	1,000,000	0	市内企業ヒアリング調査及び 大手企業ニーズ取集
負担金、補助及び交付金	0	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	0	
旅費	0	0	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	
計	2,000,000	2,000,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	鹿沼市
事業名	専門人材活用課題解決事業
事業主体の名称	鹿沼市中小企業支援協議会
代表者の名称	会長 坂入 弘泰
事業主体の所在	鹿沼市今宮町1688-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的:鹿沼市内に立地する企業(以下「市内企業」という。)に対する今後の支援方針や成長支援に向けた取り組みを、行政、専門家、企業各々の立場から協議することで、新たな支援スキーム・サービスを検討・実施し、鹿沼市の施策へ組み込んでいくことで、効率的・効果的な企業支援施策の実施を目的とする。</p> <p>・設立年月日:令和元年5月24日</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>鹿沼市に立地する中小企業においては、家具装備品製造業や木材・木製品製造業を中心とする木工業者及び金属製品製造業や輸送用機械器具製造業を中心とする金属加工業社が製造業の5割強を占めており、鹿沼市の基幹産業となっている。</p> <p>木工業者においては住宅関連産業の需要の増加や、東京オリンピックへ向けた大規模建築物等の改装や建て替えに伴う受注の増加により、順調に売り上げを伸ばしてきた。金属加工業においても同様であり、自動車産業や半導体関連産業の好調により、順調に売り上げが伸びている傾向であったが、両産業共に、昨年の末頃から市場が徐々に鈍化し始めてい</p>
事業目的	企業の将来へ向け取り組むべき課題を明確化し、解決へ向けた取り組みを支援。課題解決による企業の体制強化を図っていくことにより、市内の産業振興につなげる。
事業概要	<p>栃木県中小企業診断士会・栃木県技術士会との連携のもと、市内企業のヒアリングを実施。企業の課題の掘り起こしを行った。</p> <p>技術士・診断士については、企業支援のエキスパートではあるが、専門とする分野が各々で異なることから、課題の内容に合う専門家を招聘した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、企業が急激なデジタル化を求められたため、ITコーディネーター等の専門家を派遣し、課題解決に向けより効果的な体制を構築した。</p> <p>さらに、企業の共通課題である「DX」について、市内企業の理解を深めるため、専門家によるセミナーを開催した。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>各市町の戦略から抜き出して記載</p> <p>鹿沼市総合戦略(1)産業の振興と安定した雇用の創出①産業の振興</p> <p>市内総生産額365,415百万円(H31)※鹿沼市総合戦略目標</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業ヒアリング調査・・・14件 課題解決・・・5社 産業技術総合研究所及び東京電機大学にて講座開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業ヒアリング調査・・・約50件 課題解決・・・10社 			
事業費	2,106,607	2,197,950		4,304,557	
市町支出金(ソフト事業分)	2,106,596	2,197,934		4,304,530	
うち県交付金	1,053,298	1,098,967		2,152,265	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	11	16	0	27	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	産業振興課
担当者名	竹内 哲也
電話	0289-63-8347
FAX	0289-63-2189
E-mail	sanngyou@city.kanuma.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	鹿沼市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	専門人材活用課題解決事業	
対象年度	2	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
市補助金	2,197,934	
利息収入	16	
計	2,197,950	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
役務費	7,920	7,920	3,960	0	振込手数料
委託料	1,725,500	1,725,500	862,750	0	セミナー開催995,500円 販路開拓支援480,000円 事業計画策定支援250,000円
旅費	47,506	47,506	23,753	0	旅費10/22,10/23 (KIIP,SOIC,SFBC)
報償費	140,000	140,000	70,000	0	専門家謝金
備品購入費	277,024	277,008	138,504	16	web会議用PC,スキャナー他
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,197,950	2,197,934	1,098,967	16	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合